

日 時：2026 年〔令和 8 年〕7 月 9 日

参 加 者：岡村眞由美・岡村繁雄 他 2 名

行 程：サンシャイン・ビレッジ駐車場 → ヒーリー・クリーク・キャンプ場 → シンプソン・パス分岐 B →

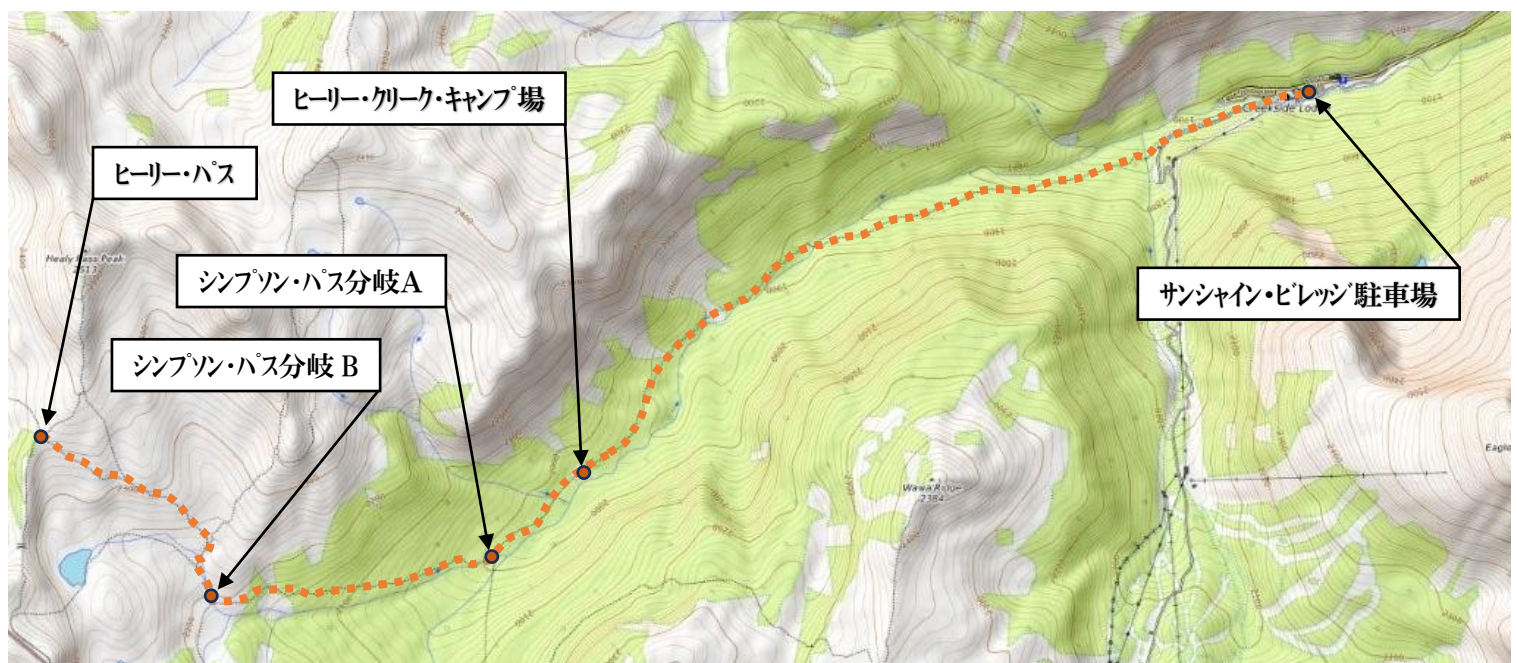
→ ヒーリー・パス → シンプソン・パス分岐 B → ヒーリー・クリーク・キャンプ場 → サンシャイン・ビレッジ駐車場

行動時間：7 時間 20 分（休息も含み）

カナダの山旅の計画を立てるにあたり、秋山裕司・石塚体一著『カナディアンロッキーのハイキング・ガイド』を参考にして、歩くコースを選定した。当初、このヒーリー・パスのコースは行程が長いと候補から外れていた。しかし、B&B モナークの小川さんから「黄色いカタクリが咲いていて、とてもきれいですよ」と勧められたことから、予定を変更して歩くことにした。



Google マップより



OpenTopoMap.org より〔..... 今回のコース〕



サンシャイン・ピレッジ ゴンドラ乗り場



ヒーリー・パスの入口

アシニボインから戻ったばかりで、全員かなり疲れがたまっていた。それでも小川さんによると、今年は例年より積雪が多く、雪解けが遅れているため、例年なら6月下旬頃が見ごろとなるカタクリの開花が少し遅れ、今がちょうど見ごろではないかとのことだった。この情報を聞き、期待を胸に出かけることにした。

サンシャイン・ピレッジのゴンドラ乗り場前の駐車場に車を止め、歩き始める。ゴンドラ乗り場からすぐのところにヒーリー・パス(Healy Pass)への入口があり、橋を渡ってトレイルに入った。



歩き始めて間もなく、左手の林の中から突然、二頭のシカが飛び出してきた。シカは驚くほどの勢いで目の前を駆け抜け、そのまま林の中へと消えていった。思いがけない出会いに、私たちも一瞬足を止め、慌ててカメラを向けた。



約 1 時間歩くと橋を渡る



だんだん天気も良くなってきていた

その後は、緩やかな登りが続くトレイルを進んでいく。約 1 時間歩いたところで橋を渡る頃には、天候も次第に回復し、周囲の景色も明るくなってきた。道中では、さまざまな高山植物にも出会った。

ワンフラワード・ウィンターグリーン、コモン・ラブラドル・ティー、トール・パープル・フリーベン、プリックリー・ローズ、ブラックティップド・グランセルなど、色や形もさまざまな花々が目を楽しませてくれた。



イチゲイチャクソウ属
ワンフラワード ウィンターグリーン
(One-flowered Wintergreen)



スミレ属
エバーグリーン バイオレット
(Evergreen Violet)

イノツツジ属
コモン ラブラドル ティー
(Common Labrador Tea)



ムカシヨモギ属
トール パープル フリーベン
(Tall Purple Fleabane)

バラ属
プリックリー ローズ
(Prickly Rose)





サワギク属
ブラックティップド グランセル
(Black-tipped Groundsel)



イワオウギ属
イエロー ヘディサラム
(Yellow Hedysarum)



緩い登りが続いた



後方 シンプソン・パス分岐B
地点手前の橋 [11:10]

さらに歩を進め、シンプソン・パス分岐 B 地点の手前にある橋に差しかったのは 11 時 10 分頃だった。この辺りから、待ち望んでいた黄色いカタクリが次第に目立つようになってきた。

そして橋を渡ったところで、目の前に驚くべき光景が広がった。

見渡す限り、一面に黄色いカタクリが咲き誇っている。まさに黄色いじゅうたんを敷き詰めたような大群生で、その規模の大きさには言葉を失うほどだった。

日本のカタクリを見慣れている私たちは、これだけの群生を目にすると、「この先を進めば、そろそろ少なくなるだろう」と考えていた。しかし、その予想は見事に裏切られた。

驚いたことに、その後もヒーリー・パスの手前まで、約 1 時間弱、1.5km にわたって黄色いカタクリの大群生が途切れることなく続いていたのである。









ところどころに雪が残る山肌と、その周囲を埋め尽くすように咲く黄色いカタクリ。その光景は、日本ではなかなか見ることのできない壮大なもので、写真を撮りながら歩いても、なかなか先へ進むことができなかった。

この黄色いカタクリは、カタクリ属のグレイシャー・リリー (Glacier Lily) と呼ばれる花である。雪解けとともに一斉に花を咲かせるその姿は、まさにカナディアン・ロッキーの春を象徴する風景のように感じられた。

やがてヒーリー・パスが近づき、さらに進むと、ついにヒーリー・パスに到着した。

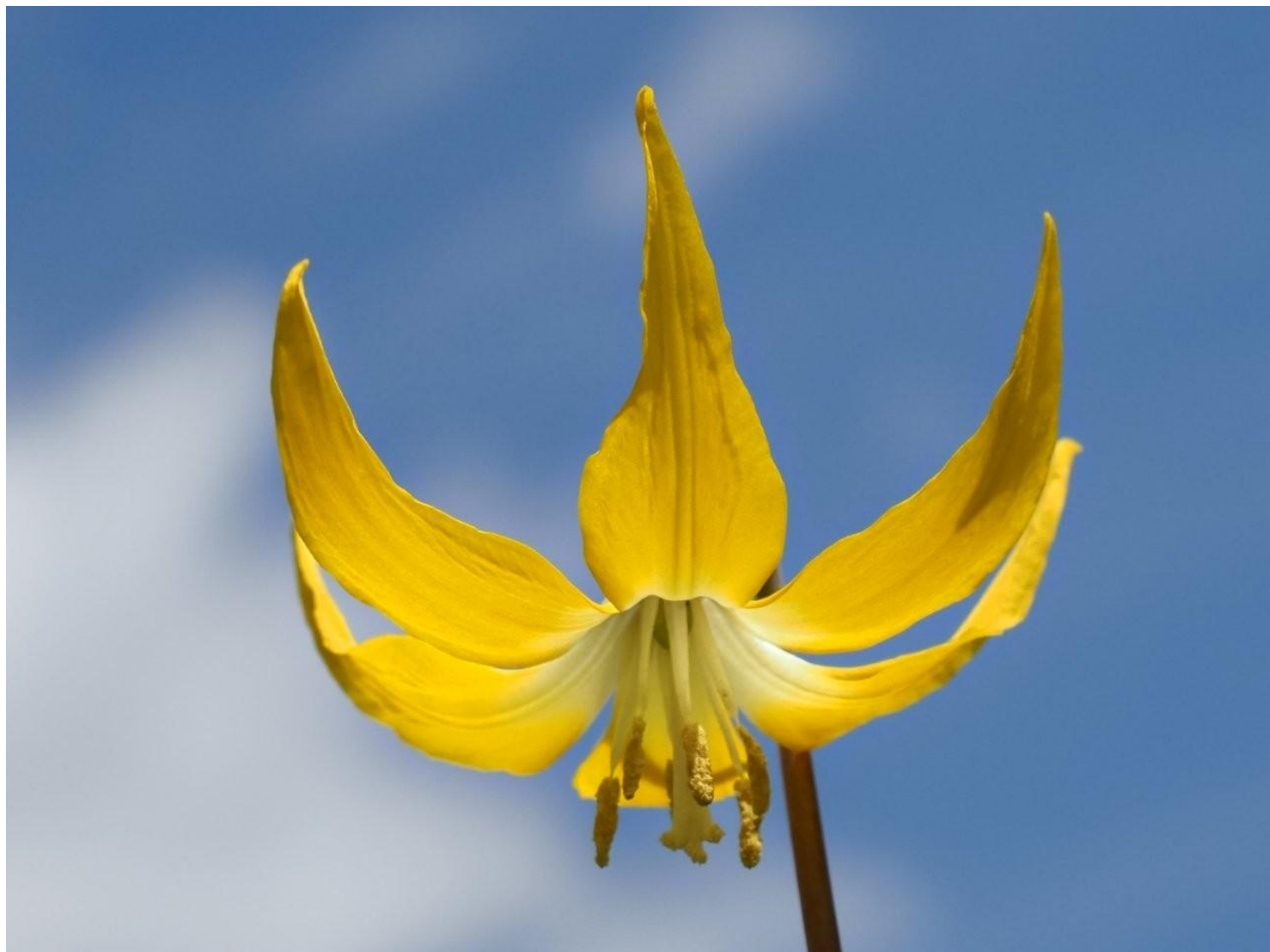


この先がヒーリー・パス [11:46]



ヒーリー・パスに到着 [12:01]





カタクリ属 グレイシャーリリー (Glacier Lily)

アシニボインから帰った翌日ということもあり、長時間の歩きは正直かなりこたえた。7 時間 20 分という行動時間は非常に長く感じられたが、それ以上に、この場所でこれほど見事な黄色いカタクリの大群生に出会えたことは、大きな収穫だった。

今回、この素晴らしい光景を体験できたのは、何より B&B モナークの小川さんから貴重な情報を教えていただいたおかげである。もし小川さんの勧めがなければ、行程の長さを理由に、このコースを歩くことはなかっただろう。

改めて小川さんに感謝するとともに、疲れを忘れさせてくれるほど素晴らしい黄色いカタクリの大群生を見ることができたことを、今回のカナダ山旅の忘れられない思い出の一つとして心に刻むことができた。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura